倉敷市・玉島小３年

福原　帆南さん

小学校低学年　山陽新聞社長賞

ヒグマのヒミツ新聞

ヒグマのヒミツ

8月22日
金曜日
玉島小学校
3年A組
福原帆南

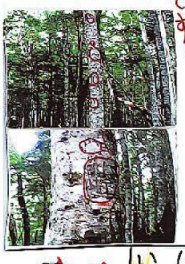
夏休みに北海道の知床へしれとこに行きました。車で道路を走っていたら歩道の方の森からヒグマが出てきていました。びっくりしてこわかったけどきょうみを持ちました。それでヒグマについて調べることにしました。

7月27日
北海道斜里で首輪をつけたクマ。

ヒグマってどんな動物？

日本には北海道にヒグマがいます。本州にはツキノワグマがいます。ヒグマはクマ科で一番大きく体長2〜3m、体重200〜500キログラムあります。ヒグマはざっ食で肉も植物もなんでも食べます。ヤマブドウやミズバショウ、シカ、ドングリ、こん虫シロザケやカラフトマスなどです。体が大きくて力の強いヒグマだけどくびょうで人が来るとにげたりかくれたりします。ふつうはヒグマはとっても食いしんぼうで自分でとった食べ物をとられるとすごくおこります。ヒグマは木のぼりがとくいですがはなと耳がよいので、においと音にびんかんです。

ヤマブドウをとるために木に登ったヒグマのつめあと



ヒグマのさけん

さい近、町に出てきてさまよったり、人にこうげきしてくるクマがふえています。ヒグマはこわがりなのでき〜うにんが出てくるとパニックになっておそってきます。とくに、子グマをつれたお母さんグマは子どもを守るために、こうげきてきになります。なのでヒグマに出会わないことが何よりも大切です。

出会わないために

①人がいる事を知らせる

クマときょりがあるうちに音や声を出して人がここにいる事を教えなければいけません。

②ヒグマを引きよせない

ヒグマが人の食べ物の味を知ってしまうと、またそれを食べようとして人のいるエリアに近づいてくるようになります。人にもなれてしまうのでゴミを捨てたり、食べ物を外においておかないことが大切です。

感想

こわそうに見えるけど子どもを守ろうとするやさしい所があると知ってクマがもっとすきになりました

寸　評

旅行先で出合ったヒグマに興味を持ち、調べたことを伝えています。特徴や生態の紹介だけでなく、近年相次ぐ人的被害を踏まえ、ヒグマと出合わないための豆知識を盛り込むなど内容を充実させています。

（C）山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。